第21回クリーンセンター連絡協議会　要点録

【日　時】令和８年７月８日(水)　午後６時30分～７時49分
【場　所】プラスチック類資源化施設　多目的室
【出席者】
　会　長：新石自治会
　委　員：新石自治会：２名　　新井自治会：１名　　落川上自治会：２名
　　百草園団地自治会：１名　百草園自治会：２名
　事務局：日野市　　５名（環境共生部長、クリーンセンター長、施設課長補佐、
　　ごみゼロ推進課長、ごみゼロ推進課係長）
　　国分寺市　２名（建設環境部長、環境課清掃施設担当課長）
　　小金井市　２名（環境部長、ごみ対策課長）
　　浅川清流環境組合　５名（事務局長、事業課長、事業課事業係長、
　　総務課長、総務課総務係長）
【傍聴者】　２名
【配付資料】
・次第　「第21回クリーンセンター連絡協議会　次第」
・資料１「プラスチック類資源化施設運転状況」
・資料２「令和６年度全国ごみ量ランキング」
・資料３「可燃ごみ処理施設運転状況」
・資料４「環境定点測定結果」
・資料５「可燃ごみ処理施設専門家委員会について」
・資料６「次期可燃ごみ処理施設建設に向けた課題等の整理について」
・資料７「令和７年度施設見学実績について」
・資料８「令和７年度水銀回収キャンペーン実施結果について」
・その他「資料３・４概要説明資料」

【次　第】

１　開会

２　議事
（１）日野市より
　①プラスチック類資源化施設運転状況
＜説明内容＞
　日野市より資料１に基づき説明を行った。
＜質疑・応答＞
（委　員）：日野市の場合、可燃ごみ、プラごみ、不燃ごみ共に毎年減っている。
　継続するために、新たに実施するキャンペーンやごみを減らすための

市民に対する取り組み方法はあるか。また、現在市民が頑張っているごみ減量方法は何か。

（日野市）： 日野市民の皆様に、日野市のごみ減量施策を理解いただき、それに向けて取り組んでもらっていることにより、結果につながっている。特に可燃ごみの 30％を占めている生ごみを減らすことがごみの減量に直結するため、日野市では、マンションやアパートでダンボールコンポストによる生ごみたい肥化事業を推進している。今年度から日野市長も自ら取り組み、ごみ減量につなげている。

日野市の廃棄物処理基本計画であります「第３次日野市ごみゼロプラン」が今年度で終了する。そのため、現在、新たに第４次日野市ごみゼロプラン（令和９～18 年度）の策定に向け検討している。こちらの計画については、市民の皆様、学識者、事業者の方に委員を担ってもらい意見を募り、また、市民アンケートを実施し、新たなごみ減量施策を提案してもらい、10 年計画に反映していこうと考えている。

（委　員）：マンションやアパートでダンボールコンポストによる生ごみたい肥化の取組みを実施した場合、市はたい肥化した成果物を引き取ってくれるのか。

（日野市）：日野市では引き取りは行っていない。取り組んでいただいた方自身でプランターや植木等で利用してもらっている。

②令和６年度全国ごみ量ランキング

＜説明内容＞

日野市より資料２に基づき説明を行った。

＜質疑・応答＞

なし

（２）浅川清流環境組合より

①可燃ごみ処理施設運転状況に

＜説明内容＞

浅川清流環境組合より資料３に基づき説明を行った。

＜質疑・応答＞

（委　員）：資料３の１ページ、排水悪臭には単位はあるか。

（組　合）：単位はｐｐｍ。

（委　員）：運転を停止し定期的に点検しているが、何を点検しているのか。点検しないと１年で壊れるのか。

（組　合）：例えば、耐火煉瓦のずれやひび割れの確認、発電に使うタービンの解体清掃、機器類の計測確認、消耗品の交換など様々な項目を点検し、次の点検まで安全安心にごみ焼却できるよう実施している。30 年間利用を考えているため、定期的に点検を入れ長期運営を維持している。現在稼働から６年が経過し安定稼働期に入っているが、15 年目から大

規模改修を想定している。
（委　員）：１月に年次点検を実施しているが、年末年始で可燃ごみが多いこの時期に実施するのはなぜか。時期をずらした方が影響はないのではないか。
（組　合）：ごみピットの容量的に年末年始のごみの多い時期に２炉止め年次点検を実施しても今のところ問題はない。一番点検しやすい時期を設定している。
（委　員）：令和７年度なぜ水銀が出なかったのか。
（組　合）：構成３市による市民の方への啓発活動により、また、構成３市の市民の皆様によりごみの分別の徹底がなされた結果、令和７年度は水銀が検出されなかった。それでも万が一水銀製品が可燃ごみに混ざっていた場合を想定し、濾過式集塵器内で活性炭を通常より少し多く吹き込み、約１年間以上、排ガス中の水銀を抑えることができている。引き続き水銀回収キャンペーンを実施し、水銀が検出されないよう取り組んでいく。
（委　員）令和７年度リチウムイオン電池の混入による火災はなかったのか。
（組　合）なかった。
（日野市）日野市もなし。

②環境定点測定結果
＜説明内容＞
浅川清流環境組合より資料４に基づき説明を行った。
＜質疑・応答＞
なし

③可燃ごみ処理施設専門家委員会
＜説明内容＞
浅川清流環境組合より資料５に基づき説明を行った。
＜質疑・応答＞
なし

（３）その他
①次期可燃ごみ処理施設建設に向けた課題等の整理について
＜説明内容＞
小金井市より資料６に基づき説明を行うとともに、各市のごみ減量に向けた取組みについて説明を行った。
＜質疑・応答＞
（委　員）：　このスケジュールは令和 24 年度から各市で可燃ごみ処理施設をつくるというスケジュールなのか。
（小金井市）：　このスケジュールについては、令和 32 年度以降も引続き３市で可

燃ごみを共同処理していくと決めた場合を前提としたスケジュールになる。令和８年度現在は、さらなるごみ減量施策の検討や課題の整理を実施している時期となり、人口が増加している中、可燃ごみは減少している状況などから、必要な次期施設規模を見定め決定する期間となる。その後、令和 17 年度からは、日野市以外の国分寺市・小金井市の中でごみ処理施設建設場所を選定し、令和 24 年度から建設開始となる。現時点では、令和 32 年度以降も３市で共同処理をするか、それとも、それぞれで処理をするのかは決まっていない。

（委　員）：今後も３市で共同処理するのか。また、次は日野市から国分寺市か小金井市に施設場所を移すのか。

（小金井市）：令和 31 年までは３市で共同処理することは決定している。このスケジュールは、令和 32 年度以降も３市で可燃ごみ処理施設を共同処理していく場合のスケジュールとなり、その場合、次期施設は国分寺市か小金井市になる。

②令和７年度施設見学実績について

＜説明内容＞

浅川清流環境組合、日野市より資料７に基づき説明を行った。

＜質疑・応答＞

なし

③令和７年度水銀回収キャンペーン実施結果について

＜説明内容＞

日野市より資料８に基づき説明を行った。

＜質疑・応答＞

（委　員）：令和７年度水銀回収キャンペーンの結果について、小金井市はなぜ少なかったのか。

（小金井市）：日野市国分寺市同様に市報やＨＰで周知を図っているが、市内に水銀製品がなくなってきていることはないと思うため、引き続き全戸配布のチラシを配布する等啓発活動に努めていく。

（委　員）：今現在の回収状況はどうか。

（小金井市）：現在、本数までは把握していないが、市役所出先機関を含めた施設や公民館で水銀製品の回収場所を設置し、実際、数本回収できている。

（国分寺市）今年度は集計していないが、昨年度については、年配の方が亡くなったのち、遺品整理をする中、水銀体温計が出てきたり、近年の気温上昇で温度計を見る機会が増え、デジタルの室内温度計に変えた等市民から聞き取った。

（日野市）今年度は集計していないが、５月で約 50 本程度回収している。

（４）日野市からの報告

北川原公園ごみ搬入路の違法性解消に向けた取組み状況の途中経過

＜説明内容＞

令和７年２月に「日野市北川原公園ごみ搬入路の違法性解消に向けた検討会」から提言書を受け取っている。その後、令和７年度１年間に渡り調査検討を行った結果、ごみ搬入路北側集約については、交通安全上の懸念があることに加えて、住民間の新たな対立を避ける必要があることから実施は困難と結論付けた。この判断については、検討委員会委員を含む全市民に対し速やかに伝達する必要があることから、３月５日の第１回定例会前の定例記者会見の場において、市長自らごみ搬入路の変更は困難であると発表した。搬入路以外も提言書では北川原公園及びクリーンセンター周辺の環境整備の在り方についても言及されているため、今後周辺環境整備については、諸条件を確認し、項目やスケジュールなどについて、改めてクリーンセンター連絡協議会で報告していく。

（委　員）ごみ収集車が通行する新石自治会、万願寺自治会、下田自治会の３つの自治会から現状の通路で続けてほしいという内容の要望書を提出し、要望がとおった。

３　閉会

次回会議（予定）　令和９年２月 13 日（土）　午前 10 時 00 分～
プラスチック類資源化施設　多目的室

以上